

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2015年 3月 27日

<p>テーマ名</p>	<p>オープンデータ活用に関する研究 ～ ITコーディネータにとってのオープンデータビジネスの可能性(基本編) ～</p>	
<p>届出組織等名称</p>	<p>企業内ITコーディネータ・ITガバナンス研究会</p>	
<p>成果物公開URL</p>		
<p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p>	<p>(代表者氏名) 古川 正紀 電話番号:03-5341-4890 e-mail: furukawa@hr-incu.com</p>	<p>(担当者氏名) 同左 電話番号: e-mail:</p>
<p>研究・調査 成果概要</p>	<p>オープンデータとは、「自由に使えて再利用もでき、かつ誰でも再配布できるようなデータ」を指します。 近年公共データの活用促進、すなわち「オープンデータ」の推進により、行政の透明性・信頼性などが高まることが期待され、更には「オープンデータ」の活用による、革新的事業の創生、地方の活性化などが期待されています。</p> <p>本稿では、行政機関が保有するデータの公開にフォーカスして論述します。 オープンデータは従来の情報公開と異なる点が3点あり、これは①オープンライセンス、②機械判読可能、③オープンフォーマットであることです。</p> <p>今年度は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ どこに、どの様なオープンデータが、どの様な形で格納されており、</li> <li>・ どうすれば、それらを取り出すことが出来て、</li> <li>・ どの様な活用が可能か…</li> </ul> <p>にたどり着き、ITコーディネータとして、どのような活用局面があるだろうかを、事例を挙げて論述致しました。</p>	
<p>成果物</p>	<p>章立ては、 1章はじめに 2章オープンデータに関する日本の動向 3章データカタログサイト 4章ITCとしてのオープンデータの活用 5章まとめ</p> <p>とし、本年度は概論・紹介になっています。</p> <p>(来年度は、更に一步進んだ活用の形にまで踏み込んだ研究、即ち「ITコーディネータにとってのオープンデータビジネスの可能性(応用編)」を最終成果物に想定した研究を実施致したいと考えています。)</p>	

<p>事務局受付日 案件番号</p>	<p>2015/3/12 S14004</p>
------------------------	-----------------------------